

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	<p>今までに何回開催したのか？また、前回の昭一校は何名参加したか？本日の参加者数は少ないが、これで説明会が成立していると感じているのか？</p>	<p>説明会は各校区で順次開催しており、本日は9回目。前回の昭一校区の保護者を対象とした説明会には、25名が参加している。この場で何か決定するわけではないので、成立する、しないの議論ではないかと思うが、是非多くの方に聞いて欲しいと思い、この場所では昭一校区および昭二校区の保護者向け、地域住民向けと全3回開催するとともに、校区に関わらず参加できる全体説明会の開催も予定している。</p>
	<p>誰を対象とした説明会か？また周知の方法はどうなっているか？</p>	<p>今回は昭代第二小学校の保護者を対象とした説明会である。まず各校区の保護者向け説明会を行った後、地域住民向けの説明会を行う。周知については、5月1日号市報への掲載に加え、保護者向けの案内文書を学校に依頼して配布した。</p>
	<p>柳川市で子育てをしたいと思えるような計画を立てて欲しい。あまりにも寂しい計画である。将来のためというのわかるが、10年前の計画を今に持ってくるのはいかがなものか。人口減ばかり考えていないで、人口増の場合の計画も並行して立てて欲しい。</p>	<p>10年前の計画と今回策定した計画は別物である。少子化が進んできたことや今後も更なる少子化が見込まれることを考慮し、計画を作り直した。人口減少を前提とした計画を立てずに、人口を増やす取組を行えという気持ちも分かるが、現実的に1学年1学級の学校が増えてきている。教育委員会としては、子どもが安心して、よりよい教育を受けられる環境を整えることこそ大切だと考えている。そのためには、1クラス数人しか居ない学校よりも、学校再編により適正規模を確保し、学力の向上が期待できる教育体制を確立したいと思つての計画である。ご理解をお願いしたい。</p>
2	<p>義務教育学校のメリットは理解したが、デメリットは無いのか？</p>	<p>(学校教育課長)これをデメリットと捉えるかにもよるが、9年制であるため、6年生修了時に卒業式が行われない。これについては進級式のような形で行うなど学校で検討したい。</p>
	<p>昭代は宅地も少ないし人口増はあまり見込めないと思う。再編段階で学校全体で19クラスということだが、今後は2クラスが維持できる見込みがあるのか？</p>	<p>(首席指導官)以前、非常に小さな小学校と中学校が義務教育学校に再編された場合の、再編前と再編後を比べての校長先生の話聞いたときに、デメリットは思いつかないと言われた。もちろん地域の状況や再編前の学校規模等により違いは出るかと思うが、そのような学校も近隣にあるということはお伝えしたい。</p>
	<p>説明会の周知についてだが、幼稚園や保育園にも案内をして頂いた方が良いのではないかと思う。</p>	<p>仰るとおり幼稚園、保育園へ向けて計画(案)の周知、説明会開催の周知について検討したい。</p>

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
2 つづき	昭代校区の子どもたちは元々皆仲良くしている印象。大人になっても同じで、仲の良い人が居ることで地域に残る人も居ると思う。しかし、義務教育学校では縦に長い分、相性の悪い人が居た場合でも長く付き合う必要があるが、そこは学校の適正規模を確保することで増えた教職員で対応できるという認識でよいのか？	仰るとおりである。義務教育学校になり規模が適正化することで、小学校、中学校双方の教職員が一定数集まる。これにより生徒指導の対応の幅が広がり、教育効果の向上が期待できる。
3	開校予定が令和8年度となっているが、遅れることはあるか？ 新設校についていろいろと協議する事項があるが、再編協議会に先立ち、対象となる保護者等へアンケートを実施する考えはあるか？	基本的には計画通りに進めていきたいが、再編協議会でなかなか意見統一ができない場合には、そこで協議を打ち切るのではなく、更に期間を設ける必要があると考えている。 基本的には再編協議会(仮称)の場で検討していただくことになる。協議会を立ち上げる前に希望調査を行うのは、対象者の選定等実施が難しい。状況に応じて臨機応変に対応したい。
4	アンケートの話だが、私立に負けないような学校を作るための希望調査をしてみてもどうか？将来的に子どもを柳川市で育てたいかどうか意見を募集すべきである。	この説明会が全て終了した後に、パブリックコメントを実施し、市民の方の意見を広く募集する期間を設ける予定にしている。賛成、反対だけでなく、文書で意見や要望を提出できる。WEB上での募集に加え、公民館や学校に用紙を置くことを考えている。是非、様々な意見を提出して頂ければと思う。
5	学校によって再編協議の時期が異なるが、学校ごとに不平等が生まれませんか？後に協議した学校の方がよりよい案が出ることもありうるように感じる。	新設校によって、若干の差が出ることは考えられる。例えばスクールバスでの通学方法を考えたとき、道の広さや混雑具合等含めて効率的なルートを考える必要があり、ある程度の地域差はあると思う。しかし、学習機会等に関しては、学校差が生まれないようにしていきたいと考えている。
6	子どもたちがスクールバスで通学するようになれば体力が落ちる。また、偶然かもしれないが、山間部では小学校が統合された後、山を下りる方が増えたという話を聞いたことがある。過疎化が進み、山にはもう誰も居ないとのこと。これは、学校再編のデメリットである。	スクールバスと体力の関係についてだが、この課題は他でも聞く。例えば、近隣では聞かないが、スクールバスを学校ではなく、400mから500m程離れた場所に停留させる学校もあるとのこと。子どもの安全と体力の双方を考慮する必要があり、今後協議会で検討する必要があると考えている。また、山間部と平野部では条件が違ふこともあり、予測が難しい。ただ、山を下りる方は、ある程度周りに子どもが居る環境を求めているのではないかと思う。逆に、自然の中で子どもを育てたいと思い、山に入る方も居るかもしれない。今回の計画案は、学校の中で豊かな人間関係を作れるように適正規模を確保した上で、学力向上が期待できる教育体制を作りたいというものである。ご理解をお願いしたい。